

議会報告会 記録(概要) 報告書(総務2班)

開催日時	令和 6年 11月 18日 (月) 午前 10時30分 ～ 11時20分			
開催場所	日光市立東原中学校			
班 員	嶋田正法(班長)	川島憲朗(副班長)	川村寿利	武田幸雄
参加者団体・人数	東原中学校 3年2組 28名			
意見交換テーマ	1. 説明(議会報告会の趣旨、議会の役割) 2. グループワーク(テーマ:「あなたは市議会議員です。日光市の予算を使い、人口を増加させる取り組みを市に提案してください。」) 3. グループごとに発表 4. 議員によるまとめ(総評)			
生徒からの質疑・意見・課題など			報告会の中で出た解決方法など	
1班 ○電車の本数を増やす。(市民の利便性の確保) ○売地を使ってお店等を作る。(空き地の有効活用) ○大手商業施設の誘致(ミスタードーナツ・サーティーワン・スターバックス)			* 公共交通機関の整備には運輸企業との連携が必要。 * 空き地の調査や立地条件の確認が必要。 * 商業施設の充実には多額の投資とマーケティングが要。	
2班 ○若者に人気な店を作る。(スポーツゼビオ・雑貨屋・映画館) ○給料を増やす。 ○若者の意見を取り入れる。 ○助成金を増やす。			* 商業施設の充実には多額の投資とマーケティングが要。 * 国の施策や地域事業者との綿密な連携が必要。 * 若者との地域懇談会の強化を図るべき。 * 市の財政を鑑みて効果的な助成金事業を創設する。	
3班 ○移住したら5年間家賃半額。 ○子供が産まれたら、ひとり10万円。 ○給食費無料化。 ○無料で24時間対応の託児所。 ○会社起業で補助金。 ○高校入学補助金。			* 市の財政を鑑みて効果的な助成金事業を創設する。 * 給食費に関しては国や県との連携が必要。 * 託児所の定義をしっかりと見定め、効率的な施設が必要。 * 創業スクールや創業支援金の活用。	
4班 ○合コンツアーの運営。(出会いを増やす) ○子育て支援。(住みやすい環境づくり) ○移民受け入れ。(交流できる環境づくり) ○地域おこし。(特色をつくる) ○教育水準を上げる。(収入が上がる) ○子供3人以上で補助金。(子供を育てようと思える環境づくり)			* 婚活事業などの活用。 * 効果的な子育て支援事業の創設。 * 移民の受け入れに関しては慎重な対応が必要。 * 地域振興の点からまちづくりを考える。 * 教育水準の向上には徹底した教育改革が必要。	
5班 ○毎月、日光の特産品が届く。 ○日光市に住んでいる人だけ割引する。 ○バリアフリーを強化する。 ○通学費の負担。 ○一時期県外から移住してもらう。			* ふるさと納税の活用。 * 市民割引コンテンツの拡大。 * 運輸企業との連携強化の中で補助金の創設。 * 移住に関してはさまざまな施策が必要。	
6班 ○通勤・通学する人の電車賃補助。 ○藤原・日東方面の開拓・団地形成。 働く場所が多い宇都宮へ日光から出勤する人を増やす(ニュータウン的な) そのために人が比較的少ない地域の開発			* 運輸企業との連携強化の中で補助金の創設。 * 現在の人口推移を鑑みて移住促進対策。	
【班としての総括・今後の方向性】				
中学生の自由な発想と、現実的な課題に対する解決策を真剣に考えている姿勢に驚かされました。 全体的には商業施設の充実と移住を含めた人口減少対策の意見が目立ったと思います。 さらには、子育て支援やまちづくり事業への期待もあり、現実を見ながらも夢を多く語っていただきました。 日光市が抱える課題は、人口減少・財政の効率化・インフラ整備などに対して、住みやすい街をいかにして創り上げていくにかかっています。 今後も中学生にとどまらず、幅広い年齢層からの意見を取り上げながら、多くの課題に取り組むべきであると思います。				

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和 6年 11月 26日

班長 嶋田 正法

議会報告会 記録(概要) 報告書(総務2班)

開催日時	令和 7年 1月 29日 (水) 午後 10時45分 ～ 11時35分			
開催場所	日光市立今市中学校			
班 員	嶋田正法(班長)	川島憲朗(副班長)	川村寿利	武田幸雄
参加者団体・人数	今市中学校 3年2組 34名			
意見交換テーマ	1. 説明(議会報告会の趣旨、議会の役割) 2. グループワーク(テーマ:「あなたは市議会議員です。日光市の予算を使い、人口を増加させる取り組みを市に提案してください。」) 3. グループごとに発表 4. 議員によるまとめ(総評)			
生徒からの質疑・意見・課題など			報告会の中で出た解決方法など	
1班 ○若い人を増やすために遊園地や水族館などあそびばをつくる。 ○市の観光資源を使い、移住者を集める。 ○市民への子育て支援や子供のための施設を作る。			* 商業施設の充実には多額の投資とマーケティングが必要。 * 移住者にとって魅力的な地域の創造。 * 市の財政を鑑みて効果的な助成金事業を創設する。	
2班 ○流行を取り入れた施設を建設する。 ○小さい子供を夜に預けられる施設を建設する。			* 商業施設の充実には多額の投資とマーケティングが必要。 * 市の財政を鑑みて効果的な助成金事業を創設する。	
3班 ○遊べる場所を増やす。(スタバ・ミスド・ドンキ) ○花火大会の規模を大きくする。			* 商業施設の充実には多額の投資とマーケティングが必要。 * 市の財政を鑑みて効果的な助成金事業を創設する。	
4班 ○移住者を増やす。(移住体験・金銭支援・空き家空き地利用・企業誘致・所得向上) ○人口の流出を減らす。(国内企業誘致・求人増加・所得向上) ○高齢者向けの支援。(移動困難者向けのバリアフリー化・交通環境整備)			* 移住定住施策の強化。 * 地域振興の点からまちづくりを考える。 * 市の財政を鑑みて効果的な助成金事業を創設する。	
5班 ○廃校を人気チェーン店やショッピングモールにする。(学校の雰囲気を残すことで懐かしさと大人人気の向上・活性化で移住者を増やす) ○他県からの引越しによる補助金 ○子育て支援や子供のための施設を作る。			* 商業施設の充実には多額の投資とマーケティングが必要。 * 市の財政を鑑みて効果的な助成金事業を創設する。	
6班 ○観光資源をうまく利用する。(地域おこし・祭りなど) ○出生率を上げる。(子育て支援・補助金・保育施設) ○住みやすい街にする(所得の増加・交通網の整備)			* まちづくりの視点を強化。 * 子育て支援に対する施策の強化。 * 現在の人口推移を鑑みて移住促進対策。	
7班 ○ショッピングモールを作る。(スタバ・ミスド・ロフト) ○子育てを支援する。 ○移住者を支援する。			* 商業施設の充実には多額の投資とマーケティングが必要。 * 市の財政を鑑みて効果的な助成金事業を創設する。	
8班 ○施設の建設、企業の誘致。(夜でも利用できる保育施設・空き家活用) ○補助金の活用。(育児保証・保育施設の利用無料化、一部免除) ○政策イベントなどのアピール			* 商業施設の充実には多額の投資とマーケティングが必要。 * 市の財政を鑑みて効果的な助成金事業を創設する。 * 広報活動に注力。	
【班としての総括・今後の方向性】 中学生の自由な発想と、現実的な課題に対する解決策を真剣に考えている姿勢に驚かされました。 全体的には商業施設の充実と移住を含めた人口減少対策の意見が目立ったと思います。 さらには、子育て支援やまちづくり事業への期待もあり、現実を見ながらも夢を多く語っていただきました。 日光市が抱える課題は、人口減少・財政の効率化・インフラ整備などに対して、住みやすい街をいかにして創り上げていくにかかっています。 今後も中学生にとどまらず、幅広い年齢層からの意見を取り上げながら、多くの課題に取り組むべきであると思います。				
広報広聴委員長 様 上記のとおり報告いたします。 令和 7年 2月 12日 班長 嶋田 正法				